

須崎	今	齊藤	木下	沢田	鳴海
梅太郎 繁八 量一 弥惣 四戸	喜一郎 弥五郎 勘吉 與之助 健造 万太郎 金次 卯作 末太 九戸	専九郎 義勝 善太郎 由八 直太郎 男次 タカ 七戸	綱五郎 與七 市五郎 三戸	才八 勇之助 立雄 長四 専蔵 岩太郎 与三郎 子之助 勇三郎 長作 兼太郎 兼吉 十二戸	大吉 武男 万次郎 與太郎 兼太郎 伊三郎 惣五郎 要吉 大次郎 武次郎 由次郎 已太郎 忠助 峯四郎 豊吉 繁次郎 子之 善七郎 専之助 角右エ門 勇作 文五郎 二十二戸
万太郎 弥五郎 万助 八戸	兵四郎 糸太郎 喜三郎 三戸	重五郎 千代吉 善四郎 ミワ 四戸	亀太郎 富八 豊八 永太郎 長吉 九郎七 利吉 嘉七 晋太郎 竹之助 千代吉 熊太郎 十二戸	沢吉 沢五郎 弥之助 万次郎 三太郎 忠太 兼七 金作 力太郎 豊五郎 十戸	貞男 金四郎 善蔵 ア子 豊作 民之助 林蔵 秀男 八戸
茂七 一戸	常五郎 小次郎 與四郎 寅吉 豊五郎 春吉 兼次郎 兵作 八戸 計二十戸	永八 一戸	熊市 銀作 二戸	豊作 永太郎 酉之助 竹次郎 四戸	武太郎 専助 善八 男次 忠蔵 永八 常三郎 七戸
計 十三戸	計 十二戸	計 十二戸	計 十七戸	計 二十六戸	計 三十七戸

山	中	氏	姓	計	その他	浜田	飯塚	蛸島	氏姓
金作 賢作 勝一 長蔵 二十四戸	永吉 藤四郎 才七 宇次郎 熊四郎 男次 喜一郎 安次郎 徳三郎 辰之助 清蔵 亀太郎 佐九郎 勝 芳造 二十二戸	古町・冷水・後町・畑中	昭和七年五月五日 (旧三月三十日)	計 一六九戸	棟方 治之 三上 浅吉 三上 庄吉 佐野幸之助 高杉宇八郎 広瀬 与作 中野 喜助 長利 永吉 八戸			末八 一戸	古町・冷水・後町・畑中
亀一 樵夫 二十二戸	兵一郎 喜三郎 福太郎 市五郎 要吉 林次郎 又吉 慶一 八太郎 慶吉 忍 宇八郎 専之助 定吉 門次郎	鍛冶町・車町・本町(新誠町)	鎮守八幡宮御神楽諸費受払帳	計 九四戸	高杉松太郎 江良 二戸		喜代太郎 勘九郎 勘太郎 長三郎 四戸		鍛冶町・車町・本町(新誠町)
計 五十六戸	三十郎 己之助 専九郎 兼蔵 男茶 長義 金作 専四郎 専太郎 専次郎 十戸	派 立 (昭和町)	宿主 鳴海 万次郎	計 六三戸 合計 三二六戸	白川万四郎 三上 安長 三上市太郎 野呂喜三郎 間山 與太 野戸谷甚作 六戸 計十六戸	永太郎 由太郎 由吉 与市郎 計四戸		長之助 茂助 計 三戸	派 立 (昭和町)

黒川	津田	櫛引	花田	平川	内海	神島	工藤	阿部
長次郎 勇吉 長吾 三戸	茂作 繁四郎 二戸		長次郎 柁次郎 甚作 柁八 四戸	由次郎 兵太郎 久男 豊作 四戸	嘉之七 市太郎 二戸	万四郎 平一 二戸	林蔵 一戸	佐吉 仁八郎 二戸
七五郎 松太郎 慶太郎 八五郎 常四郎 五戸	孫市 與八 二戸		甚太郎 柁五郎 二戸			安次 徳太郎 三太昌 弥太郎 五戸	幸吉 弥四郎 二戸	三之助 一戸
計 八戸	計 四戸	佐之繁 吉七郎 寅次郎 辰五郎 八戸 計八戸	松五郎 甚助 二戸 計八戸	計 四戸	勘四郎 勘太 二戸 計四戸	嘉吉 安五郎 計 九戸 二戸	保次郎 弥一郎 兼五郎 十八郎 松太郎 勇太郎 弥八郎 要之助 精助 清次郎 市三郎 十一戸 計十四戸	計 三戸

木村	小山内	原田	小松	秋元	土岐	鎌田	吉崎	氏姓
担道 米八 己之太郎 松三郎 秀吉 米太郎 六戸	繁四郎 定次郎 男次 繁雄 兼蔵 五戸	惣市 卯三郎 耕造 三戸	永作 八太郎 藤之才 八 四戸	甚四郎 茂雄 亀吉 幸作 元太郎 七五郎 六戸	磯吉 千代太郎 辰五郎 八戸	只六郎 繁一 丑太郎 安五郎 粕五郎 四戸	弥五郎 弥八郎 林二 金五郎 四戸	古町・冷水・後町・畑中
治一郎 勇助 二戸	マロキヨ 二戸	長作 要助 男茶辰 与辰五郎 五戸	常五郎 才助 二戸	惣五郎 万四郎 藤太郎 兼蔵 勇太郎 五戸	只七郎 武七 多之吉 三戸	辰五郎 直太郎 二戸	十造 弥太郎 新八郎 丸市 四戸	鍛冶町・車町・本町(新誠町)
金利 一戸 計 九戸	計 七戸	万助 一戸 計 九戸	計 六戸	寅次郎 一戸 計 十二戸	惣七 一戸 計 十二戸	善七 松五郎 二戸 計八戸	専四郎 熊吉 己之助 金作 又四郎 五戸 計十三戸	派立(昭和町)

氏姓	中村	鈴木	外崎	舛甚	木立	秋村	岩村	飯塚	蛸島
古町・冷水・後町・畑中	五助 與作 若太郎 嘉四太郎 慶助 永作	万四郎 万次郎	男茶 万次郎	万作 與作 佐助 万次郎 万助	又五郎 弥次郎	万助	角太郎 兵三郎		佐之吉
鍛冶町・車町・本町(新誠町)								貞雄 末五郎 末太郎 長三郎 喜代太郎	茂作 寅太郎 要八 末吉
派立 (昭和町)	佐市				間五郎 久五郎	米作	九郎	常男	
	計 七戸	計 二戸	計 二戸	計 五戸	二戸 計四戸	一戸 計二戸	一戸 計三戸	一戸	計 五戸

計	その他	浜田
一六八戸	棟方甚太郎 白崎 秀八 安田 金作 対馬治太郎	佐野 タケ
一二九戸	間山喜之助 高杉宇八郎 野呂喜五郎 江良 小倉宗太郎 野宮 金助 平井繁太郎 能登屋重次 能登屋弥四郎 長利 ミキ	運吉 一戸
八十七戸	白川万四郎 金次岩五郎 伊丸岡茂作 坂本 米作 三上市太郎	由吉 唯八 永作 重一 由雄 沢吉 與一郎 七戸 計八戸
合計三八四戸	計二十一戸	

交通網の変革によって決定される。  
 したがって派立が発展したのは、津軽鉄道嘉瀬駅ができたからであり、  
 村の構造は社会経済と相まって、道路整備による交通、物資の流通形態  
 の変動によって大きく変わってゆくことから、これからの嘉瀬はどこに伸  
 びるか、旧県道であった鍛冶町通りも、狐崎から古町西側・西館八幡宮  
 西から金木へ国道三三九号線バイパス道が完成された今、嘉瀬は秋元水  
 田地帯の国道沿いに金木に街続きになることだろうか…。本表から  
 父・祖父・曾祖父の名をたどって、将来の嘉瀬の姿を相像していただき  
 たい。  
 次に当時の嘉瀬の世帯人員を調べてみよう。

### 明治四十一年戸別家族構成数

(明治四十一年秋神楽諸色記載帳より転記)

山 中 繁 藏	山 中 石 松	山 中 勇 八	山 中 嘉 之 作	山 中 福 次 郎	山 中 八 太 郎
六人	四人	五人	六人	四人	七人
〃 亀太郎 三人	〃 門次郎 三人	〃 清太 八人	〃 徳太郎 五人	〃 勘助 六人	〃 文八郎 六人
〃 豊太郎 三人	〃 喜八郎 四人	〃 与市 四人	〃 利八 二人	〃 末吉 三人	〃 勘太郎 八人
〃 イサ 三人	〃 瀧五郎 十人	〃 宇之 十人	〃 福太郎 四人	〃 勝太郎 七人	〃 巳之助 三人
〃 定吉 六人	〃 永吉 九人	〃 キワ 二人	〃 喜一郎 六人	〃 長作 七人	〃 貞次郎 八人
〃 金作 四人	〃 兼藏 十二人	〃 熊 五人	〃 寅藏 十人	〃 喜三郎 三人	〃 桃太郎 六人
〃 甚作 四人	〃 慶之助 七人	〃 専太 二人	〃 常太郎 十人	〃 専之助 七人	〃 長名 五人
			〃 権十郎 八人	〃 久五郎 四人	〃 龍之助 八人

山中兵一郎	七人	山中反次郎	六人	山中平助	五人	木下永太郎	六人	齊藤吉五郎	八人	今	嘉四	八人
" 貞助	十人	" 善五郎	三人	" 善七	十人	" 專太郎	九人	" 善五郎	九人	" 久助	八人	
戸数五二戸 家族数三五九人 一戸平均六・九〇人		鳴海宇太郎	九人	鳴海米吉	七人	" 大吉	九人	" 永吉	九人	" 男次	三人	
" 豊太郎	六人	" 兼吉	四人	" 與惣	十人	" 石太郎	七人	" 由太郎	七人	" 弥五郎	八人	
" 貞吉	五人	" 丑之丞	十三人	" 末吉	八人	" 九郎七	六人	" 直太郎	六人	" 才太郎	六人	
" 八五郎	四人	" 忠吉	三人	" 又作	十一人	" 福太郎	四人	今 伴藏	六人	" 金四郎	二人	
" 律太郎	十四人	" 金作	八人	" 筆八	九人	" 三郎	八人	" 伴三	十二人	" 喜三郎	六人	
" 宇一郎	二人	" 由次郎	十人	" 大五郎	五人	" 銀次郎	八人	" 幸之助	九人	" 九郎助	七人	
" 己之助	四人	" 男治	九人	" 勘次郎	十三人	" 大治郎	四人	" 勇吉	五人	" 吉兵衛	五人	
" 繁太郎	十三人	" 永八	二人	" 子之	五人	齊藤千代吉	五人	" 安太郎	三人	" 宇作	三人	
" 稻太郎	七人	" 石太郎	六人	" 金次郎	十人	" 伝九郎	七人	" 九郎	六人	" 万太郎	六人	
" 豊作	七人					戸数三六戸 家族数二六八人 一戸平均七・四四人						
戸数三一戸 家族数二五七人 一戸平均八・二九人		須崎 佐太	九人	吉崎 熊吉	九人	鎌田金五郎	六人					
沢田勇之助	六人	沢田沢次郎	九人	沢田長十郎	七人	" 永八	十一人	" 又吉	六人	" イト	二人	
" 長作	五人	" 共作	四人	" 沢吉	六人	" 由太郎	十人	" 弥三郎	八人	" 善太郎	九人	
" 幸吉	五人	" 千代太郎	四人	" 忠太	六人	" 男次	五人	" 己之助	二人	土岐 文作	六人	
" 嘉吉	六人	" 金助	七人	" 与三吉	六人	" 三次郎	五人	" 七太郎	八人	" 惣七	九人	
" 長四	六人	" 重助	八人	" 三次郎	五人	" 鉄太郎	二人	" 豊作	四人	" 清太郎	十三人	
" 辰五郎	六人	" 藤太郎	十一人	" 弥之助	九人	" キク	四人	" 松太郎	九人	" 丑太郎	八人	
" 久藏	八人					" 茂七	五人	" 男次	八人	" 熊吉	六人	
戸数一九戸 家族数一四三人 一戸平均七・五二人						吉崎 金助	三人	鎌田茂太郎	二人	" 太之吉	六人	
						" 三太	四人	" 直太郎	三人	" 弥左エ門	七人	
								" 善之助	六人			

戸数三三戸 家族数二三六人 一戸平均七・三七人		秋元勇太郎	七人	原田 間之	五人	小山内吉太郎	四人	平川 豊作	五人	津田清九郎	十三人	櫛引寅次郎	九人
" 長之助	五人	" 辰三郎	五人	" 慶太郎	六人	" 佐之吉	七人	" 与作	十人	" 佐之吉	三人		
" 藤太郎	八人	" 間三郎	七人	" 晴一	六人	花田長次郎	三人	" 男次	五人	" 七五郎	九人		
" 佐吉	八人	" 寅吉	二人	木村次八郎	六人	" 甚助	七人	櫛引末太郎	五人	" 辰五郎	八人		
" 七五郎	九人	" 万太郎	四人	" 三太郎	七人	戸数四十戸 家族数三〇七人 一戸平均七・六七人							
" 弥作	六人	" 辰次郎	四人	" 条次郎	四人	黒川長五郎	四人	中村 与八	六人	舛甚辰五郎	五人		
" 松太郎	二人	" 宇之助	八人	" 松三郎	五人	" 勇助	九人	" 金次郎	九人	" 半四郎	十四人		
小松 才助	五人	小山内福太郎	五人	" 永作	五人	" 男次	七人	" 正次郎	五人	" 仁太	十人		
" 八太郎	八人	" 勘五郎	七人	" 甚之助	七人	" 松五郎	九人	" 与作	五人	木立弥五郎	八人		
" ナツ	六人	" 平吉	八人	" 宇之吉	六人	" 与八	七人	" 太一郎	十人	" 弥次郎	三人		
原田 長作	八人	" 門次郎	四人	" 兼吉	八人	" 太郎	九人	" 茂助	六人	" 金作	五人		
" 忠助	十人	" 平太郎	六人	" 与三郎	四人	" 新太郎	四人	" 佐太郎	六人	" 宇作	六人		
" 辰五郎	五人					" 慶太郎	三人	鈴木孫十郎	七人	秋村 万吉	七人		
戸数三十七戸 家族数二五七人 一戸平均六・九四人						" 元作	三人	" 弥市	八人	岩村 金助	七人		
阿部与三郎	五人	工藤九八郎	五人	神島 弥作	五人	" 平次郎	四人	" 弥惣	五人	" 九郎	七人		
" 三之助	六人	" 太郎	七人	内海 清之	七人	中村斧太郎	六人	外崎 惣之	八人	" 兼次郎	四人		
工藤伊之助	六人	" 惣太郎	七人	" 丑太郎	九人	" 永吉	九人						
" 十八郎	五人	" 権五郎	八人	" 徳太郎	九人	戸数三四戸 家族数二五九人 一戸平均七・六一人							
" 勇太郎	五人	" 弥惣八	十一人	" 岩次郎	九人	蛸島 末八	十一人	飯塚喜代太郎	三人	浜田 由吉	六人		
" ハル	五人	神島徳太郎	二人	" 勘太	六人	" 長之助	六人	" 惣兵衛	八人	" 永太郎	十一人		
" 弥八郎	八人	" 安太郎	八人	" 金次郎	四人	" 丸吉	十人	" 宇吉	十人	" 運吉	十二人		
" ユワ	四人	" 三太	七人	平川林次郎	五人	" 茂助	四人	" 勘九郎	二人	" 由太郎	七人		
" 保次郎	十人	" 弥惣	五人	" 由次郎	六人	" 権吉	四人	" 長三郎	四人	" 与一郎	四人		

三上市太郎 八人 佐野幸之助 二人 中野 喜助 六人  
 " 安長 八人 広瀬 与作 五人 野戸谷甚作 四人  
 棟方 治之 八人 野呂喜三郎 七人 長利 永吉 九人  
 " 男次 四人 間山 与太 九人 " 紋太郎 八人  
 戸数二七戸 家族数二〇七人 一戸平均七・六六人  
 計 戸数三〇八 家族数二、二九三人 一戸平均七・四四人  
 一世帯数二人から四人まで三七戸二・〇%、五人から九人まで二〇  
 七戸六七・二%、十人以上六四戸二〇・八%の割り合いとなっている。

大正十五年戸別家族構成数

(大正十五年旧十月二十日秋神楽諸色記載帳より転記)

山中 専太	四人	山中亀太郎	四人	山中 又吉	七人	鳴海辰五郎	七人	鳴海万次郎	十人	鳴海民之助	七人	
" 専九郎	七人	" 宇八郎	五人	" 慶一	六人	" 忠蔵	九人	" 繁次郎	八人	" 文五郎	五人	
" 専四郎	五人	" 清蔵	六人	" 勝一	十一人	" 忠助	五人	" 丑之亟	八人	" ヨシ	六人	
" 長義	四人	" 石松	十一人	" 幸平	五人	" 勇作	六人	" 子之	十人	" 永八	五人	
" 峯五郎	六人	" 喜三郎	五人	" 利四郎	七人	" 與七	十一人	" 伊三郎	十一人	" 林蔵	七人	
" 男茶	六人	" 甚作	五人	" 定五郎	八人	" 充平	二人	" 豊吉	六人	" 由次郎	八人	
" 専次郎	三人	" 忍	八人	" 男治	三人	" 金次郎	六人	" 與太郎	十人	" 勇治	三人	
" 兼蔵	十一人	" 慶吉	五人	" 喜一郎	七人	" 惣五郎	五人	" 玉太郎	八人	" 稻太郎	五人	
" 育	五人	" 秋男	五人	" 三十郎	六人	" 貞男	六人	" 専助	五人	" 米四郎	三人	
" 智隆	八人	" 文一	五人	" 佐九郎	四人	" 大吉	九人	" 子之助	五人	" 角左五門	八人	
" 賢作	六人	" 金作	八人	" 安次郎	五人	" 要吉	三人	" 常三郎	九人	" 律太郎	五人	
" 勝	七人	" 寅吉	六人	" 喜八郎	九人	戸数三三戸 家族数二二一人 一戸平均六・六九人	沢田竹之助	五人	沢田豊五郎	四人	沢田兼太郎	七人
						" 豊作	七人	" 立雄	八人	" 西之助	四人	

沢田 忠太	八人	沢田子之助	十人	沢田永田郎	七人	工藤 林蔵	十人	工藤十八郎	九人	工藤保次郎	六人	
" 勇之助	六人	" 岩太郎	九人	" 與三郎	四人	" 九八郎	六人					
" 沢八	三人	" 沢吉	十二人	" 沢五郎	九人	戸数一三戸 家族数九四人 一戸平均七・二三人	須崎三三郎	九人	斉藤 健三	二人	吉崎松太郎	十人
" 弥之助	七人	" 勇三郎	六人	" 沢七	七人	" ミヨ	五人	" 直太郎	十三人	" 専四郎	七人	
" 才八	八人	" 兼吉	十二人	" 長四	十三人	" 量一	八人	" 千代吉	七人	" 又四郎	十人	
" 三太郎	八人	" 力太郎	四人	" 長作	五人	" 繁八	十六人	" 由太郎	十一人	" 熊一	七人	
" 三市郎	六人	" 金作	六人			" 茂八	八人	" 専太郎	四人	" 男次	二人	
戸数二六戸 家族数一八五人 一戸平均七・二一人						" 弥五郎	十人	吉崎七太郎	十人	" 弥三郎	七人	
木下 銀作	五人	木下亀太郎	二人	木下九郎七	七人	" 由太郎	十三人	" 八太郎	十人	" 弥太郎	七人	
" 竹之助	六人	" 千代吉	六人	" 石太郎	十人	斉藤 永八	九人	" 已之助	五人	" 金作	七人	
" 富八	六人	" 竹五郎	五人	" 永太郎	七人	" 重五郎	八人	" 弥五郎	十人			
" 辰蔵	九人	" 綱五郎	九人	" 長吉	七人	戸数二六戸 家族数二二五人 一戸平均八・二六人	鎌田長三郎	七人	土岐 磯吉	十一人	秋元勇太郎	十人
" 晋太郎	六人					" 吉太郎	九人	" 熊吉	九人	" 由太郎	十三人	
戸数一三 家族数八五人 一戸平均六・五三人						" 岩吉	十一人	" 太之吉	六人	" 七五郎	十二人	
今 勘吉	十人	今 常五郎	五人	今 万太郎	八人	" 間之	五人	" 千代太郎	八人	" 亀吉	十二人	
" 春吉	十四人	" 男次	八人	" 要之助	八人	" 善之助	十一人	" 粕五郎	八人	" 藤太郎	十三人	
" 糸太郎	五人	" 兼次郎	九人	" 金作	八人	" 松五郎	九人	" 只五郎	六人	" 小松 藤之	七人	
" 喜三郎	九人	" 男茶	四人	" 末太	七人	" 万之助	六人	" 丑太郎	十人	" 永作	六人	
" 喜衛次郎	六人	" 兵太郎	十九人	" 平作	九人	" 直太郎	五人	秋元寅次郎	八人	" 才八	七人	
" 弥五郎	六人					" イト	六人	" 惣五郎	四人	" 八太郎	十三人	
戸数一六戸 家族数一三五人 一戸平均八・四三人						土岐 惣七	八人	" 万四郎	六人	" 才助	五人	
工藤勇太郎	六人	工藤弥四郎	六人	工藤清太郎	六人	戸数三〇戸 家族数二五一人 一戸平均八・三六人						
" 弥八郎	十人	" 要之助	七人	" 清助	八人							
" 弥惣八	七人	" 幸吉	七人	" 兼五郎	六人							

原田 寅吉	五人	木村 勇助	七人	神島 忠雄	五人
〃 卯三郎	九人	〃 治一郎	七人	〃 弥太郎	三人
〃 金作	二人	〃 米太郎	八人	〃 安之助	十人
〃 長作	六人	〃 己之太郎	八人	〃 安五郎	五人
〃 万助	七人	〃 米八	五人	〃 安次	八人
〃 忠助	十三人	〃 教懂	九人	〃 善五郎	八人
〃 辰五郎	六人	阿部仁八郎	十一人	〃 平太郎	五人
小山内 男次	五人	〃 三之助	七人	〃 平吉	五人
〃 兼蔵	四人	〃 シェ	五人	〃 万四郎	九人
〃 定次郎	六人				
戸数二八戸	家族数一八八人	戸平均六・七一人			
内海丑太郎	八人	花田甚太郎	六人	津田 興作	六人
〃 勘太	六人	〃 甚作	八人	〃 繁四郎	六人
〃 清之助	四人	〃 松五郎	七人	〃 男次	十一人
〃 徳太郎	十人	〃 長次郎	七人	黒川慶太郎	五人
〃 亀七	七人	〃 証五郎	七人	〃 平作	七人
〃 勘四郎	七人	〃 甚助	六人	〃 新太郎	六人
平川由次郎	十三人	〃 嘉助	五人	〃 松太郎	六人
〃 豊作	十一人	〃 藤吉郎	六人	〃 長次郎	七人
〃 久男	七人	〃 繁吉	四人	〃 長吾	五人
〃 兵太郎	七人	〃 佐之	六人	〃 勇吉	三人
戸数三三戸	家族数二二七人	戸平均六・五七人			

中村忠太郎	六人	秋村 米作	七人	飯塚 常男	七人
〃 與作	八人	〃 万助	六人	〃 勘太郎	九人
〃 若太郎	八人	岩村 九郎	十人	〃 長三郎	十人
舛甚万次郎	五人	〃 常太郎	五人	〃 喜代太郎	八人
〃 峯五郎	十六人	〃 兵三郎	六人	浜田 由吉	八人
〃 子之太郎	十四人	蛸島 茂助	八人	〃 重一	四人
〃 佐助	六人	〃 要八	六人	〃 與市郎	六人
〃 万助	四人	〃 寅太郎	六人	〃 唯八	四人
木立又五郎	五人	〃 末吉	八人	〃 永作	九人
〃 間五郎	五人	〃 権一	四人	三上市太郎	十一人
〃 弥次郎	八人	飯塚 貞吉	六人	〃 浅吉	七人
戸数三三戸	家族数二四〇人	戸平均七・二七人			
古川嘉之助	二人	中野 才吉	六人	佐野 洪	七人
伊丸岡茂作	六人	栗山勇次郎	六人	对馬治太郎	四人
白川万四郎	七人	江良	五人	高杉宇八郎	四人
野呂喜五郎	四人	平井繁太郎	四人	鈴木萬次郎	十四人
小倉宇太郎	七人	嶋谷武次郎	三人	広瀬 與作	七人
長利朝五郎	三人	高田安太郎	四人	棟方 治之	十三人
間山喜代吉	六人	白崎 秀八	六人	外崎 男茶	十一人
戸数二二戸	家族数一二九人	戸平均六・一四人			
計 戸数三三三戸	家族数二、四〇五人	戸平均七・二二人			
一世帯数二人から四人まで	四二戸一・二・六%、五人から九人まで	二二戸六九・四%、十人以上	六〇戸一八・〇%の割り合となっている。		

明治二十九年から昭和七年までの三年に一回嘉瀬八幡宮に奉納される津軽神楽の例祭実行諸費支払内訳簿である鎮守八幡宮御神楽諸色品帳をめぐっていると、嘉瀬清久溜池人丸崎に安置してあった柿本人麻呂ゆかりの人丸神社前で津軽一円の歌謡みを一同に会して、四十二才の年祝いをした山中龍之助の氏名は大正九年までの奉加帳にはその名を連らねてゐるが、大正十二年の奉加帳に至って、嘉瀬の文化人の名前は見当らない。

にしばり付けておく農村因習からでもあったろう。大東亜戦以前まで、次男は、嫁をもらっても、子どもが学校にあがるまで兄貴に寄食していた話は、今でも農村の次三男から聞かされ、寄食もできない貧苦な家庭の次三男は、いやおうなく農奴(借り子)に出される。

奉加帳から拾う物価

また奉加帳の人名をたどってゆくと、奉加金の下の氏名の肩書に『アダ名』が記入されている。大正十二年の氏名に、タバコヤは蛸島のこと。サイベは山中芳造のこと。カタ口兄は山中清蔵のこと。ボテは沢田豊五郎のこと。

奉加帳に綴られている神楽諸経費収入支出明細には当時の物品購入価格が明細に記されている。その二・三を移記すると

アリは中野才吉のこと。タモコは工藤清次郎のことと添え書きされている。嘉瀬の『アダ名』の由来はまたの機会にして……

昭和五十九年四月現在の金木町の世帯数は三、八八八で、その人口は一四、三四九人と町広報金木だよりの公報をもとにすると金木町の一世帯の家族構成数は三・六九人と求められる。本表の戸別家族構成では明治四十年では一世帯当り七・四四人。大正十五年には七・二二人で、大世帯では十六・七人の家族構成も見られる。

◎明治二十二年Ⅱ塩引壱本四拾銭、鰯一羽式拾銭、鯿一丸拾七銭、ソイ式四六銭、トウフ一上げ拾六銭八厘、タマゴ拾八個拾八銭。

◎明治二十九年Ⅱ鰯一羽拾九銭、塩引一本参拾銭、干鰯一丸壱円六拾銭、半紙参丁拾壱銭五厘、身欠ニシン参羽六拾銭、トウフ四丁四銭八厘。

◎明治三十二年Ⅱ半紙四丁拾六銭、カスベ壱枚九拾銭、塩引壱本参拾五銭、鰯羽式拾八銭、大豆壱升六銭、イカ六拾匹五拾銭、鯿六拾匹参拾銭、炭壱俵拾参銭、タマゴ式拾五個式拾八銭、酒式升四円八拾銭。

昭和五十九年現在の一世帯当り三・六九人と少ない因子は、老人二人きりの世帯、核家族構成による長男の別居、子どもも二人から多くて三人の人口構成になったからであろうが、明治・大正・昭和初期のこの奉加帳からは、当時は、長男の嫁こども、次男の嫁こどもも一世帯の中に生活を営んでいたことであろうことが裏付けられ、それは当時の農村の貧苦で、別家を建ててやるにも資金にとほしく、また農作業労働を本家

◎明治三十五年Ⅱスルメ五把六拾四銭、炭壱俵拾式銭、半紙壱帖四銭、ローソク四丁式拾式銭、酒壱斗五升四円式拾七銭五厘。